

平成 29 年度 里庄町 夏休み子ども劇場

ミュージカル

国境のない純真な愛の物語

人魚姫

Princess mermaid

原作/アンデルセン

脚本/菅井 建

演出/源 紀

隣国の王女 河村唯

魔女 瀬戸内美八

人魚姫 安達星来

●プロデューサー

相羽 源之助

●制作

深田 倫紀

川島 清和

制作/劇団東少

●音楽
塩谷 翔

●振付
山本 教子・相羽 源氏

●照明
立川 直也

●美術
高橋 あや子

●音響
木谷 晶代

●衣裳
山田 いずみ

●舞台監督
正井 令二

日時

8/17 木

平成29年

開場/午後 1:30

開演/午後 2:00

終演/午後 4:00

会場

里庄総合文化ホール
「フロイデ」
大ホール



文化庁

入場無料

どなたでも入場できます!

※入場整理券が必要です
(里庄町教育委員会にあります)

※終演後、ロビーにて出演者による握手会があります。

平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

主催 / 里庄町 お問い合わせ / 里庄町教育委員会 ☎(0865) 64 - 7212

自分の幸せよりも大切な人の幸せを願う、清らかな心をテーマにした感動作!

ミュージカル

人魚姫

Princess mermaid



かいせつ

「人魚姫」は、数あるアンデルセン童話の中でも、代表作と言える作品です。アンデルセンの童話が、子どもだけでなく、大人たちをも感動させるのは私たちの人生のように、美しく明るい部分と暗い部分や残酷な面を持っているからなのでしょう。アンデルセンの言葉に「たしかに小さな子どもには理解できない面もあるだろう。また、そのつもりで書かれたものでもない。でも、子どもたちは大人になれば自然にわかってくる。それでいいのだ。ただ好きになってもらえればいい。童話というものは、もともと不思議なものなのだ。」とあります。

人魚姫は王子様と結婚することもできず、海の泡になってしまいます。そこには、人魚姫の「自分の命よりも愛した人の幸せを願う心」、純愛があります。人魚姫を通して、子どもたちに夢のような美しさ、人生の喜びや悲しみを深く感じてもらい、逞しく心豊かに生きてもらいたいと願っております。

ものがたり



深い深い海の底、人魚のお城にエルダ、ネクシー、マリーナという3姉妹の人魚がいました。

一番末の人魚、「マリーナ」姫の誕生日の日、マリーナは海の上に出ることが許されました。ただし、人魚は人間と会うことは許されません。

マリーナは心躍らせて海の上に出ます。海の上には人間の乗った大きな船があり、その中では王子様の誕生パーティーが開かれていました。マリーナは王子様を一目見た瞬間に好きになってしまいます。ですが、マリーナは遠くで見つめることしかできません。

すると、突然海は嵐で大荒れとなり、王子様が船から海へ落ちてしまいます。マリーナは気絶した王子様を助けて浜辺へと運び、岩影へと身を隠します。そこへ隣国の美しい王女様が通りかかり、王子様を見つけます。気がついた王子様は王女様に助けられたと勘違いし、王女様に助けてくれたお礼を言います。王子様はマリーナに助けられたことを知りません。マリーナはその様子にひどく落ち込みます。

王子様を心から愛してしまったマリーナは、何とか王子様に会えないか考えました。そして考えた末、海の魔女に「人間になりたい」と頼みにいきます。しかし、欲が深い魔女はただでは人間にしてくれません。「お前の美しい声を私にくれるなら…。ただし、人間になっても、王子様がお前以外の人と結婚した時には、お前は海の泡となって消えてしまうよ」それでもマリーナは自ら美しい声を引き換えに、人間になって王子様に会いに行きます。

声が出ないマリーナは王子様の近くにいるだけで幸せでした。ところが、王子様は隣国の王女様と結婚することになります。

思い悩むマリーナが海を見つめていると、そこに現れたのはマリーナの姉、エルダとネクシーでした。エルダとネクシーは自分たちの長い髪を引き換えに、海の魔女にお願いしてきたのです。「魔女からもらったこのナイフで王子様の命を奪いなさい。そうすればマリーナは人魚に戻れるのよ」

お姉さんたちからナイフをもらったマリーナは、王子様の背後でナイフを構えます。しかし、構えたナイフを下ろします。マリーナにはどうしても王子様の命は奪えなかったのです。

ついに王子様は結婚の日を迎えます。王様もお妃様もみんなが祝福します。

そして、マリーナは王子様の幸せを心から祈りながら、海の泡となって消えていくのでした。

安達星来

(人魚姫)



(株) 町田英子事務所所属。洗足学園音楽大学ミュージカルコース卒業。「カラミティ・ジェーン」ジェニー役 ルテアトル銀座 音楽劇「赤毛のアン」主役アン役 東京国際フォーラム「ズボン 船長」先生役 新国立劇場「BROADWAY MUSICAL LIVE 2015」新国立劇場「ミュージカル ロザリー」フランソワーズ役 六行会 ホール「シンデレラ」シンデレラ役 三越劇場 美輪明宏主演「葵上・卒塔婆小町」新国立劇場 その他地方公演。また NHK「どもくんバンドショー」歌のおねえさんとして ファミリーコンサート等出演。

瀬戸内美八

(人魚の国の王妃・魔女)



1966年宝塚歌劇団入団。1979年星組トップスターに就任し、数々の作品で活躍する。特に日本物に定評があり、「ちいさな花がひらいた」「心中・恋の大和路」等の代表作を生み出した。1983年「オルフェウスの窓」で退団。退団後は徳島で、「ダンススタジオひまわり」を主宰し、毎年阿波踊りに連を出すなど故郷に地盤を固めつつ芸能活動も勢力的に行っている。近松作品やミュージカル、宝塚 OG 公演など多数の舞台に出演。リサイタルやディナーショーでも活躍している。

河村唯

(隣国の王女)



1989年8月5日、静岡県出身。2015年10月31日にアイドルリング!!!を卒業。現在は舞台、歌と様々なジャンルで活躍中。主な出演作に、CX「めっちゃ×2イケてるッ!」、NTV「有吉反省会」、ドラマ EX「特命係長・只野仁ファイナル」、舞台「天才劇団バカバッカ」、「ぶよぶよオンステージ」等。IJICHI's Living Door (伊秩弘将プロデュース LIVE) にも定期的に出演中。



■協力/町田英子事務所・山本教子バレエスタジオ・プロダクション尾木

劇団東少紹介

劇団東少は、1949年創立以来公演活動が続けて半世紀を越えた歴史のある児童演劇の専門劇団です。公演地は、全国的であり、北は北海道から南は九州沖縄まで幅広く、公演日数も年間100日を超え20万人以上の動員をしています。作品は名作から創作まで数多く手がけ、特に子どものための名作ミュージカルは魅力的な舞台を創り、定評があります。1985年からスタートした東京日本橋の三越劇場での夏・冬の三越ファミリー劇場は、定期公演になり一般公演の少ない児童演劇界でホール専用のプランニングにより美しいステージを創り出しています。

劇団東少の子どものための名作ミュージカルは心のやさしさをメルヘンタッチで描き、現代に通じる愛を、芝居・歌・ダンスで構成し、涙と笑いを織り交ぜながら感動的な舞台を創り、大人にも子どもにも好評を博しております。

《劇団東少輝く受賞のかずかず》

- ◆厚生省児童福祉文化賞
- ◆東京都児童演劇祭優秀賞
- ◆東京都児童演劇祭奨励賞
- ◆読売児童演劇賞
- ◆日本児童演劇脚本賞
- ◆厚生省中央児童福祉審議会特別推薦
- ◆文化庁地方巡演・こども芸術劇場指定公演